

2013年（平成25年）4月26日（金曜日）

釈迦内小

一緒に地域盛り上げて

ヒマワリの種 パック詰めし配布へ

大館市釈迦内小（五十嵐経校長）の児童らは、住民らに配布するヒマワリの種のパック詰め作業を行っている。地域ぐるみでヒマワリを栽培する釈迦内サンフラワープロジェクトの「二戸一ひまわり運動」の一環。児童らは多くの人が協力してもらえるよう心を込めて作業している。

釈迦内地区では、釈迦内小を中心にヒマワリ栽培とヒマワリ油を製造する同プロジェクトに取り

組んでいる。一戸一ひまわり運動は、より多くの人が協力を得ようとヒマワリの種が入ったビニールパックを各家庭に贈るもので、昨年度から実施。今年と同地区の約2千世帯に町内会長を通して配布するほか、プロジェクトに協賛する秋田銀行や郵便局などの窓口でも後日配布する。20日には釈迦内婦人会の支部長会で約400個を配った。

ほか、同校の2～6年生がしたためたメッセージ入りのチラシを封入。プロジェクトの概要なども「一緒に地域を盛り上げましょう」「ヒマワリで笑顔になります」「元気に育ててください」など協力を呼び掛ける言葉が記されている。パック詰めは17日から開始し、トータル5千個を目標としている。25日は総合学習の時間に、4～6年生の141人が作業。チラシを折り畳み、スプーン1杯分のヒマワリの種をパックに詰め込

んだ。村木聖矢君（6年）は「もう一人が協力したい気持ちになってくれるよう心を込めてやっている」と話し、きれいに見えるよう丁寧にパックを開けるなどしていた。同校は、28日午前10時から同市御成町のいこく大館ショッピングセンターでヒマワリ油の販売活動を行う予定で、購入者を対象にひまわりのビニールパックをプレゼントする。



釈迦内小の児童が住民らに配布するヒマワリの種のパック詰め作業